

数学

<全体分析>

試験時間

70分

解答問題数

4題

解答形式

マークシートおよび短答式（式を記入する）

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化）

出題の特徴

解答時間に対して問題量，計算量が多い。

確率（数学A）に加え，数学II，数学Bの比重が大きく，複数の分野にまたがる出題も多い。

その他トピックス（入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など）

特になし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
I (i)	数列（漸化式）	数学B	複素数係数2項間漸化式を定数列が満たす条件.	易
	(ii) 積分法	数学II	絶対値のついた関数の積分.	標準
	(iii) 微分法, 三角関数	数学II	2倍角, 3倍角の公式.	標準
	(iv) 二項定理, 三角関数	数学II	${}_5C_r$ を含む和を二項定理でまとめる.	標準
	(v) 対数, 数列（漸化式）	数学II	漸化式, 不等式の両辺の対数をとる.	標準
II	確率	数学A	ランダムウォーク. 円周上の複数の動点の位置関係	難
	数列（漸化式）	数学B	の変化を確率漸化式で表す.	
III	ベクトル	数学B	直線のパラメータ表示. ベクトルの大きさ, 三角	標準
	微分法	数学II	形の面積の最小値.	
IV	ベクトル（空間座標）	数学B	平面の方程式, 法線ベクトルのなす角, 三角比を含む	標準
	三角比	数学I	方程式の近似解.	

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

文科系の数学としては難易度が高く，計算量も多い。

標準的な問題だけでなく，複数の分野の内容を融合させた問題も要領よく解決できるよう練習を積んでもらいたい。

数学II，数学Bの出題が本年は多かったが，これらの土台となる数学I，数学Aの学習も重要である。